



輝く！橘中

第12号 令和6年11月22日
文責：大向智樹

【校訓】積極・自主・創造 【本年度の重点目標】自分の考えや思いを表現できる生徒の育成
【5つの行動目標】自分で考え、判断し、責任を持つ お互いの考えや違いを認めて接する 挨拶 時間を守る 清掃

子どもたちの学力・学習状況をお知らせします。

令和6年度、子どもたちの学習状況を把握、分析し、子どもたちへの学習指導の改善や課題等の解決に役立てることを目的に、3年生は全国学力・学習状況調査（4月18日）、1、2年生は福岡県学力調査（6月18日）を実施しました。そこで、本校の結果の概要をお知らせします。

【3年生 全国学力・学習状況調査の概要】

国語	正答数は全国・福岡県の平均を下回っています。特に、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項、書くこと、読むことの領域について課題があります。
数学	正答数は全国・福岡県の平均を下回っています。特に、関数、データの活用の領域について課題があります。

【1、2年生 福岡県学力調査】

	国語	数学
1年生	正答数は、県平均を下回っています。 読むことの領域は、県平均に近い結果です。一方、書くことの領域について課題があります。	正答数は、県平均を下回っています。 図形の領域は、県平均に近い結果です。一方、変化と関係の領域について課題があります。
2年生	正答数は、県平均を下回っています。 話すこと、聞くことの領域は、県平均に近い結果です。一方、読むことの領域について課題があります。	正答数は、県平均とほぼ同じです。 数と式の領域は、県平均とほぼ同じ結果、データの活用の領域は、県平均を上回った結果です。

学校では今回の結果を分析する中で、無解答率（全く解答していない）が高いことが課題であると考えています。特に、記述式や短答式の問題では、顕著に表れています。それは、問題文の内容が読み解くことができないことや問われていることがわからないために問題を解くことをあきらめている、あるいは、書くことへの抵抗感があるのではないかと考えています。

一方では、無回答率が前年度より減少している傾向が見られます。最後まで問題に取り組もうとする子どもたちが増えていることが考えられます。先生方が学級や教科の授業で粘り強く対応したことが変化となって表れたと考えています。やはり、問題文を読み解く力が必要ではないかと考えて、子どもたちが文章等を読む機会を増やすことや図書室の利用を増やす取組、子どもたちが書く活動に取り組むことを検討しています。

【3年生対象の学習状況（生活習慣や学習への取組など）調査】

※調査の「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を肯定的な回答として集計

・「人の役に立つ人間になりたいと思う」生徒は97.2%と高い割合になっています。
・「自分にはよいところがあると思う」は約80%で、自己有用感を大切にしています。
・「地域や社会をよくするために」約74%の人がよく考えています。

学習状況調査では、子どもたちは、自己有用感が高い傾向が見られます。将来、自分自身が地域や社会の中で、どのように生きていくのかをしっかりと考えていると思います。周りの人と協働することの良さをもっと感じ取れるように、学校において、自他の意見を交流して、それぞれのよさをもとにして、自分の考えを作り、表現できるような活動に取り組んでいきます。

また、情報リテラシーに関する子どもたちの状況について課題であると考えています。

- ・「月曜日から金曜日の1日あたりのSNSや動画視聴などの時間（学習で使用する時間は除く）」について、「2時間以上」が約69%（そのうち4時間以上が19.7%）で、全国や県平均を上回っています。
- ・「スマートフォンなどの使い方で家の人と約束したことを守っています」は、約65%は守っています。一方、「約束はない」が23.9%でした。

1、2年生では、「スマートフォンなどの使い方で家の人と約束を決めていますか」について、約40%が「約束を決めていない」と答え、同様の傾向が見られます。

学校においては、情報モラルに関する学習を行っています。ネット上の情報の取り扱いや自らが発信する情報の取り扱いなどについて、講師の先生から話をいただいています。子どもたちには、情報の真偽を判断する力を身に付けてほしいと考えています。また、自分が発信した情報は、『そこに残り続ける「持続性」、誰もが見られる「可視性」、「拡散性」』の3つの特徴があると言われます。一度でもインターネットに発信や投稿されてしまうと、例えば、「別の人が別のSNSに投稿・拡散する」などの事態が発生し、「完全に削除することは困難」となります。

是非、ご家庭において、子どもたちと使い方について確認していただければと思います。

生徒会役員立会演説会で熱い思いを伝えました。

11月15日（金）に、生徒会役員選挙の立会演説会を行いました。現生徒会役員・専門委員長の任期満了により、次の生徒会役員を決定することになり、1、2年合わせて10名の子どもたちが立候補しました。ポスター掲示、登校時や学級訪問などの選挙運動を行っていました。立会演説会では、責任者の応援演説や立候補者の公約を聴いて、自分の意思で票を投じることを選挙管理委員会より話がありました。10名の立候補者は、自分の熱い思いを短時間で伝えることができるように熱弁を振るっていました。

立会演説会後は、投票を行いました。立候補者の公約を思い出しながら、子どもたちが1票を投じることで意思表示することができました。18日（月）に選挙結果の発表があり、これから新生徒会役員・専門委員長を決定して、3学期から新体制での生徒会活動を進めることになります。



【立会演説会の様子】



【投票の様子】

令和6年度筑後地区中学校新人卓球大会（11月16日 柳川市民体育館）

予選リーグ惜敗（黒木中、小郡中、城南中）

大牟田ライオンズクラブ65周年記念式典

さん（2年）が

ホテルセキアで弁論発表しました。

第36回大牟田市青少年健全育成毛筆書展

さん（3年）の作品は、えるるに

展示されています。



【弁論発表の様子】



【展示作品】



【大会の様子】